

# 改装作業も順調に進んでいます！



# 「しきしまの家」への協賛金・クラファン ご協力ありがとうございました！

困りごとの相談窓口&老若男女誰でも集える居場所 「しきしまの家」をつくりたい

SHIKISHIMAnoIE ソーシャルグッド 愛知県

私たちの  
住民たちが力を合わせます！

人口減少・高齢化でも絶対に  
ふるさとを失いたくない！

困りごとの相談窓口&老若男女誰でも集える居場所  
**しきしまの家**をつくりたい

¥ 現在の支援総額  
**1,630,000円**

108%  
目標金額は1,500,000円

支援者数  
**152人**

募集終了まで残り  
**終了**

## ① 支え合い社会創造プロジェクト

12月の総務会でもお願いしておりました「しきしまの家」の協賛金とクラウドファンディング。おかげさまで、目標を達成することができ、プロジェクトの拠点施設「しきしまの家」整備の財源を確保できました。

また420名にもおよぶご協力者数や、多くの応援メッセージなどから、支え合いの地域づくりを目指すプロジェクトの方向性や可能性について確信を持つことができました。ありがとうございました。

**協賛金 175万円（協賛者268人）**

**クラウドファンディング 163万円（支援者152人）**

「しきしまの家」プロジェクトは、かつての山村に普通にあったお互い様のしくみ「結」を現代によみがえらせ、子どもからお年寄りまで誰もが不安なく、自分らしく、未来に夢をもって暮らせる地域を次世代につなぐプロジェクトです。

ご支援いただいた皆さまのご期待に応えられるよう、日本の未来に夢と希望を広げる地域づくりのモデルとなることをお約束します。

なお、締め切った後も「支援がしたい」と届けてくださる方もあり嬉しい気持ちでいっぱいです。今後とも支援していただける方がありましたら、会計までご連絡ください。

自治区にあるさまざまな業者さんの協力で工事が進んでいます。

毎日着々と進んでいく様子を記録として残していきますが、皆さんにもより「しきしまの家」を身近に感じていただけたら幸いです。

**多くのメディアに取り上げていただきました**

毎日新聞	12月21日
CBCラジオ	12月24日
矢作新報	1月1日
新三河タイムス	1月13日
中日新聞	1月21日
MID・FM	1月23日

Webサイト  
ブログも好評  
こちら↓

# 敦島支え合い新聞 Vol.5

2023年(令和5年)  
2月号  
発行  
敦島自治区支え合い社会創造  
プロジェクト（協力・MYパワー）

# “関係自治”という新しい考え方を検討しています

# 農村RMOモデル形成支援事業 ヒアリングがありました

## ② 農地保全プロジェクト

「農地保全プロジェクト」としてチャレンジすることを決めた農村型地域運営組織（農村RMO）モデル形成支援事業の採択に向けた、東海農政局、愛知県、豊田市のヒアリングが1月18日（水）、敷島会館でありました。

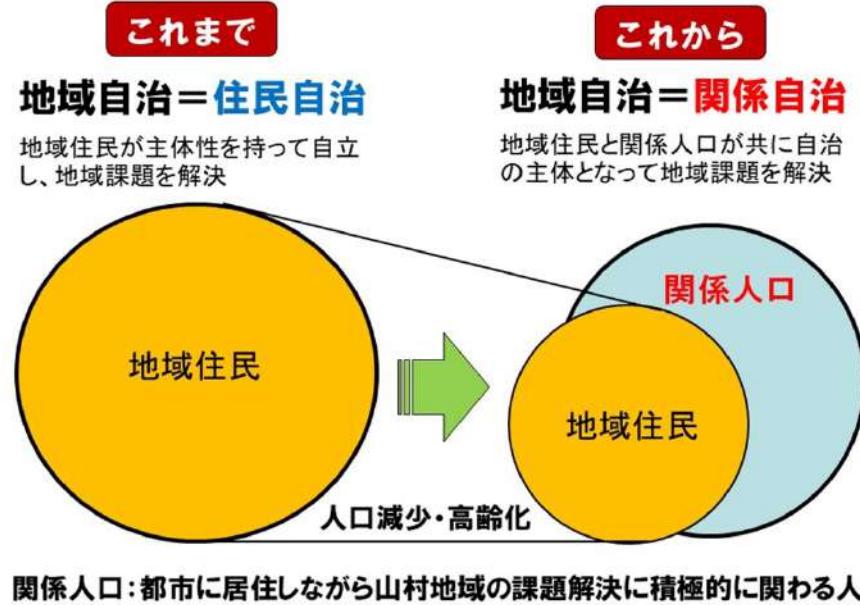
区長はじめ農業委員、農地利用最適化推進委員で、「農地保全」を含む「しきしまの家」プロジェクトについて説明し、「モデルになる良い取組み、採択に向けた手続きを進めてください」との回答を得ました。

この事業は、令和4年度に創設された「中山間地域等において、複数の農村集落の機能を補完する農村RMOの形成により地域で支え合う村づくりを推進」するための事業で、「しきしまの家」プロジェクトで取組もうとしていることが、ぴった

この事業が採択された場合、令和5年度から3年間、様々な実証（試行的取組み）に対し助成が受けられることとなります。

現在、①「しきしま支え合いシステム」の試行、②荒れた農地を復旧して「ターナー」などに斡旋、③草刈りロボットの開発と共同利用、④「メグ友会」旭元気野菜の会「活性化、⑤高齢者や子どもとの塾通いの移動支援などを候補事業として関係者との協議を進めています。敷島がますます楽しくなりそうです。

## 都市とつながる今後の山村自治のイメージ



1月29日（日）に第5回会議を開催しました。アンケート結果などを踏まえ、「未来への構造改革に向けた提言」の前提となる、これからの地域自治について検討しました。

これまで、自治体の運営や地域の課題解決は、そこに暮らす住民が主体的に行う「住民自治」という考え方で、行政に過度に依存しない「自立」が求められてきました。私たちは、「しきしま」ときめきプラン」を定めて、定住促進を始め大きな成果を出してきました。

そのような努力は今後も必要ですが、人口減少・高齢化のスピードが勝ります。

私たちは、人口減少・高齢化を止めるのではなく、**抗えないものとして受け止めて前に進む「関係自治」**という新しい考え方について検討しています。

今でも、お役や村祭りには、出身者が応援に駆け付けたり、都市部の企業にお願いしたりしては、いやいや来ている訳ではなく、やりがいや喜びを感じて応援いただいています。いわば、お互いの関係なのです。

「しきしまの家」を拠点として、都市部の「関係人口」としっかり繋がる仕組みができれば、課題が解決されるのではないのでしょうか。皆さまの意見をお寄せください。

## ③ 未来への構造改革プロジェクト

### 農村型地域運営組織（農村RMO）のイメージ

〇〇むらづくり協議会

自治会・町内会 婦人会・PTA 社会福祉協議会など

集落協定、集落営農 農業法人 など

●複数の集落による集落協定等と自治会など多様な地域の関係者が連携して協議会を設立  
●地域の話合いにより、農用地の保全、地域資源の活用、農村の生活支援に係る将来ビジョンの策定

農用地の保全、農業生産

A集落	B集落	C集落	D集落	E集落	F集落
集落協定	集落協定	集落協定	集落協定	集落協定	農業法人

農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

#### 農村RMOモデル形成支援

【支援対象】  
・調査・分析  
・計画作成  
・実証事業 等

【事業対象分野】

農用地保全	地域資源活用	生活支援
農地周辺・林地の草刈り作業	直売所を核とした域内経済循環	集荷作業と併せた買い物支援